

生徒指導通信

令和元年度 7月号

青森県立大間高等学校 生徒指導部
 令和 元年 7月24日(水) 発行
 Vol. 4
 文責：主任 中野渡 信哉

興味のアンテナを広げよう!

この学校に来てから、長距離の移動が増えたため、音楽をよく聴くようになりました。最近、特に「あいみょん」にハマり、ヘビーローテーションして聴いています。(知らない人のために一応説明しておく、「あいみょん」は兵庫県出身の女性シンガーソングライター。昨年NHK紅白歌合戦に初出場を果たすなど、今最も勢いのある歌手の一人です。)

正直なところ、私は初め「あいみょん」という名前だけで、「きっと曲は若者向けで、自分には合わないだろうな」と勝手な先入観を持っていました。たまたま実際に聴いてみたことで、その先入観は吹き飛ばされた。しかしよく考えてみると、このように先入観にとらわれ、「食わず嫌い」をすることによって損をしているケースって、実はたくさんあるのではないだろうか?

少し話は変わりますが、「見えないゴリラ」という有名な実験があります。この実験は、数十人の学生を集めてバスケットボールのパス回しの動画を見せ、パスの回数を数えてもらうというのですが、大事なところはそこではありません。実は動画の最中に、ゴリラの着ぐるみを着た学生が堂々と画面を横切るので、半分の学生はパスの回数を数えるのに夢中で、そのゴリラに気づかなかったのだそうです。これは、「人は驚いて見ようと思っているものの情報は入っていないが、見ようと思っていないもの情報は入っている」ということを示しています。

「新しい洋服が欲しいな」と思っている人が街を歩けば、頭の巾着に入っている洋服の目印が、飲食店や靴屋ではなく、洋服店が自然に目に入ってくるでしょう。逆に「おなかすいた」と思っている人であれば、やたらと飲食店が目に入ってくる。思っていることと関連した情報が入ってくるのですから、「自分は不幸だ」と思っている人には、自分にとって良くない情報は入って入ってくるということ。これはつまり、自分の考え方やものの見方一つで、入ってくる情報は大きく変わるといっても意味しています。

「これは自分には関係ないだろう」「面白くないぞ」といった先入観だけで物事を考えていると、面白い情報は入ってきません。それはつまり、面白いことも起こるはずがないということ。明日からの夏休み、せっかくなので長期休業ですので、興味のアンテナを広げて、様々なこと・様々なものに触れて欲しいと思います。そうしたら、(私が「あいみょん」に触れて、ドライブの時間がちょっとだけ充実したように)皆さんの人生ももっとだけ、もしかしたらすごく楽しいものになるかもしれません。2学期、少し成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

硬式野球部 (と吹奏楽部) お疲れ様!

7月11日(木)、硬式野球部の甲子園予選第1回戦が行われました。対戦相手は何と、昨年準々決勝で敗れた、八戸学院光星高校。本来シード権を取っていてもおかしくない優勝候補の打撃力は凄まじく、残念ながら0対2で5回コールド負けを喫しました。現チームは、県ベスト8に輝いた昨年の実績と嫌でも比較され、大きなプレッシャーと戦いながらの日々で、苦しいことも多かったかもしれませんが、それでも、強豪校相手に最後まで堂々と戦ってくれたことと思います。選手、マネージャーの皆さん、そして吹奏楽部や応援に駆けつけてくださった皆様、本当にお疲れ様でした。

第101回全国高等学校野球選手権青森大会

光星	3	4	1	9	5	=	22
大間	0	0	0	0	0	=	0

(令和元年7月11日・八戸長根野球場)



~1学期を振り返って~

今学期は懲戒処分が0件で、大きな問題行動はありませんでした。しかし、人間関係のトラブルが数件発生し、嫌な思い・苦しい思いをした生徒も決して少なくなかったと思います。

全国的にいじめが問題となっていますが、この問題のやっかいさは、「やられた側は深く傷ついているのに、やった側にはその自覚がない」というところにあると思います。軽い気持ちで言った(やった)ことが、深く相手を傷つけている。皆さんにも心当たりはありませんか? **人の痛みや苦しみに共感できることは、人間として最も大切な能力の一つだと私は考えます。**「自分の一言で、この人は傷ついていないか?」相手の気持ちに敏感になり、そのような自省ができる大間高生であって欲しいと思います。

夏休み中、事故非行がないように。2学期にまた元気で会いましょう。

8月の日程
 22日(木) 2学期始業式・服装容儀指導
 整理学習テスト